

平成14年度東北海区海況予報 第1号

平成14年4月16日

独立行政法人水産総合研究センター 東北区水産研究所

《今後の見通し (2002年4月～2002年6月)》

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°N～36°30'N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の近海の北限位置は、平年並(38°30'N付近まで)で推移する。
- (3) 黒埼沖の暖水塊は、停滞する。常磐沖の暖水塊は、停滞する。鮎埼沖合の暖水塊は、2つとも西に移動する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは、北偏(41°N)で推移する。
親潮第2分枝の張り出しは、平年並からやや北偏(40°N付近まで)で推移する。
三陸南部沖の冷水域は、停滞し、縮小する。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°30'E～143°E)で推移する。

《海況の経過 (2001年12月～2002年2月) の特徴》

- ・表面水温は、北海道沿岸域で平年より低く、三陸南部以南は、平年並～高めで推移した。
- ・近海の黒潮は、北偏傾向を強め、北限位置は12月に39°N以北に達した。その後、1月から2月にかけて暖水塊が切り離され黒潮流軸緯度は平年並となった。
- ・親潮第1分枝の張り出しは、41°付近(平年から北偏)で停滞していた。

《現況 (2002年3月～4月上旬) の特徴》

- (1) 近海の黒潮の北限位置は、平年並。
- (2) 黒潮系暖水の北への張り出しは、近海で平年並。
- (3) 暖水塊が黒埼の東約150km沖(40°N, 143°30'E), 鮎埼の東約300km沖合(39°40'N, 146°30'E) および約500km沖合(39°40'N, 149°E), 常磐の東約200km沖(37°30'N, 143°30'E)にある。
常磐沖の暖水塊から常磐沿岸へ暖水が波及している。
三陸南部沖に冷水域がある。
- (4) 親潮第1分枝の先端位置は、北偏(40°40'N)。
親潮第2分枝の張り出しは、やや北偏(40°N)。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並(142°30'E)。

注：経過・現況は図を参照のこと。

(*)は人工衛星情報による。

「近海」は146°E以西, 「沖合」は146°E以东を表す。